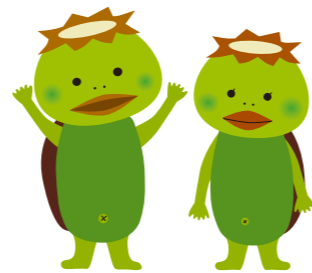


プレシニア世代
50代
の皆さまへ
セカンドライフをより
現実的に見据えられる年代

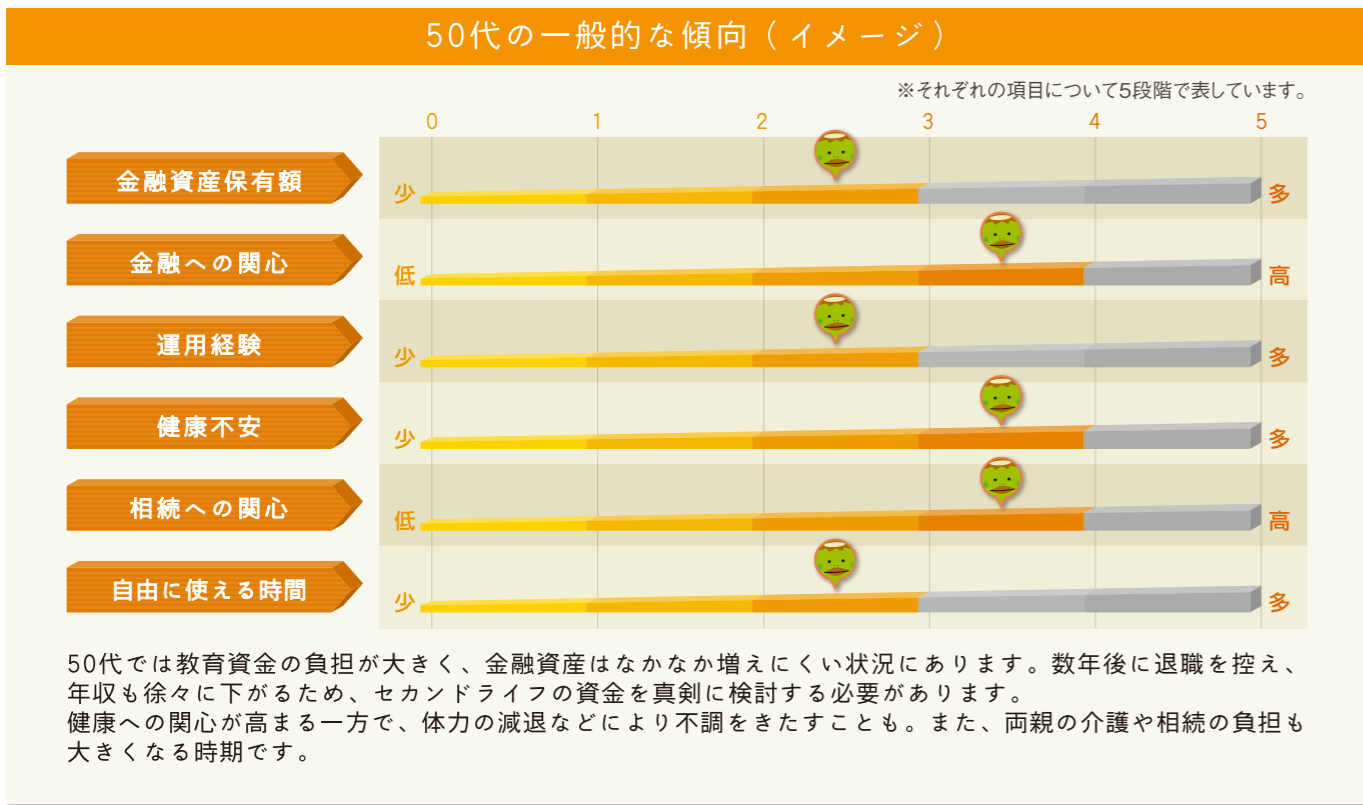
安心して健康的な生活を
送るための環境を整えましょう。

いろいろな経験をして迎えた円熟期。
退職後の生活を見据えながら、
今後のライフプランニングを
再構築するための絶好の機会です。



Question

1. 公的年金はいつからどれくらい受取れるかご存知ですか？
2. 何歳まで勤務されるご予定ですか？
3. 健康に気をつけていることはありますか？



ちゅうぎんは、お客さまの「セカンドライフの充実」や「不安の解決」のためにご提案します。

[公的年金] についてご存知ですか？

公的高齢年金は「基礎年金」と「厚生年金」の2種類があります。働き方や経済状況によって支給額が異なります。

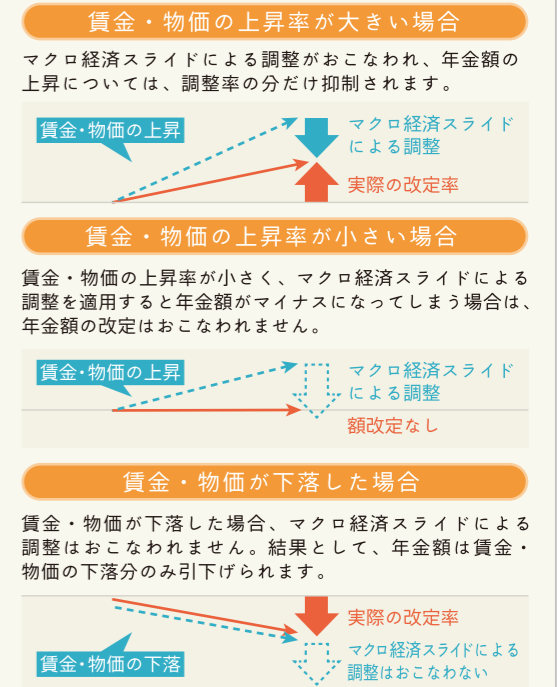
■ 公的高齢年金支給開始年齢

生年月日	60歳	61歳	62歳	63歳	64歳	65歳
男性 S24.4.2~S28.4.1			特別支給の老齢厚生年金(報酬比例部分)			老齢厚生年金
女性 S29.4.2~S33.4.1						老齢基礎年金
男性 S28.4.2~S30.4.1			特別支給の老齢厚生年金(報酬比例部分)			老齢厚生年金
女性 S33.4.2~S35.4.1						老齢基礎年金
男性 S30.4.2~S32.4.1			特別支給の老齢厚生年金(報酬比例部分)			老齢厚生年金
女性 S35.4.2~S37.4.1						老齢基礎年金
男性 S32.4.2~S34.4.1			特別支給の老齢厚生年金(報酬比例部分)			老齢厚生年金
女性 S37.4.2~S39.4.1						老齢基礎年金
男性 S34.4.2~S36.4.1			特別支給の老齢厚生年金(報酬比例部分)			老齢厚生年金
女性 S39.4.2~S41.4.1						老齢基礎年金
男性 S36.4.2以降に生まれた方						老齢厚生年金
女性 S41.4.2以降に生まれた方						老齢基礎年金

男性は昭和36年4月2日以降、女性は昭和41年4月2日以降生まれの方は、公的年金の支給が65歳からになります。

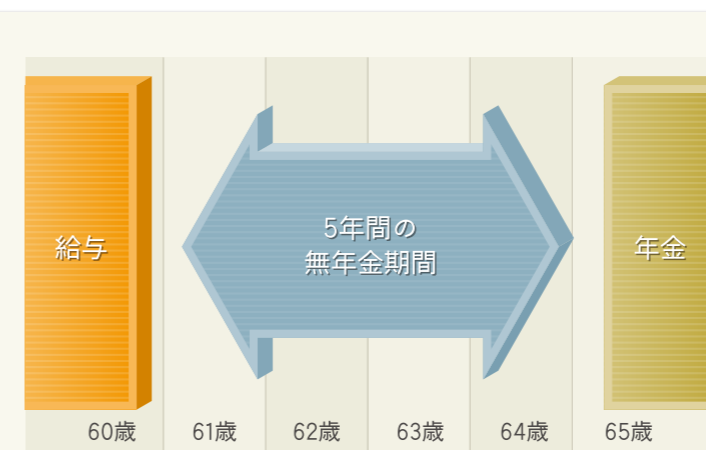
出所:日本年金機構ホームページより抜粋

■ マクロ経済スライド方式のイメージ



[無年金期間] に備えましょう

60歳で退職した場合に、男性は昭和36年4月2日以降、女性は昭和41年4月2日以降生まれの方は5年間の無年金期間が発生します。



夫婦の生活費を毎月22万円
(老後の最低日常生活費*) とすると

22万円×12か月×5年間=1,320万円
〈5年間の最低日常生活費〉

※ 出所:公益財団法人生命保険文化センター「27年度生活保障に関する調査」



60歳から65歳までの期間の対応方法

1. 65歳まで働く
2. 公的年金を繰上げ受給する
3. 貯蓄を取崩す
4. 私的年金などでまかなう

ちゅうぎんからのご案内

- 年金保険
 - 個人年金保険
 - 一時払個人年金保険
- セミナー
 - 年金セミナー
- 制度
 - 確定拠出年金制度(401k)
 - 個人型(iDeCo)、企業型
 - 少額投資非課税制度(NISA)
- サービス
 - 年金受取ご予約サービス
 - ちゅうぎん年金ダイヤル
- 貯蓄
 - 財形年金預金
 - 年金定期預金
- ローン
 - ちゅうぎん
 - リフォームローン



これから先の [健康不安] にも備えましょう

医療行為を受ける場合、支払い減額制度があります。事前に制度の内容を確認しておきましょう。

■入院時の費用

公的医療保険の負担 高額療養費等 自己負担部分 <small>自己負担部分が自己負担限度額を超えたときには高額療養費が支給されます</small>	A 入院時の食事代などの一部負担	一般所得者の場合、1日3食1,080円を限度に1食につき360円を自己負担(平成30年度から1食460円に段階的に引き上げる予定) <small>※出所:平成27年1月13日社会保障制度改革推進本部決定「医療保険制度改革骨子(案)」</small>
	B 差額ベッド代	個室や少人数の病室を選んだ際の料金
	C 公的医療保険対象外の特殊な治療	■先進医療の例 ●白内障において多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術 技術料:51.0万円、平均入院期間:1.3日、年間実施件数:7,026件 ●陽子線治療 技術料:263.5万円、平均入院期間:12.5日、年間実施件数:2,916件 <small>出所:厚生労働省中央社会保険医療協議会(第290回)議事次第「平成26年6月30日時点で実施されていた先進医療の実績報告について」</small>
	D その他の雑費	●入院時の衣類、タオル、洗面用具、スリッパなどの日用品 ●テレビ代、本や雑誌代 ●快気祝い、見舞いに来る家族の交通費 など <small>交通費や入院に際しての日用品代、快気祝い等</small>

■医療費の自己負担限度額(70歳未満の場合)

所得区分	自己負担限度額(月額)	多数回該当(※2)の場合(4か月目以降)
年収約1,160万円~の方 健保:標準報酬月額83万円以上の方 国保:年間所得(※1)901万円超の方	252,600円+(医療費-842,000円)×1%	140,100円
年収約770~約1,160万円の方 健保:標準報酬月額53万円以上83万円未満の方 国保:年間所得600万円超901万円以下の方	167,400円+(医療費-558,000円)×1%	93,000円
年収約370~約770万円の方 健保:標準報酬月額28万円以上53万円未満の方 国保:年間所得210万円超600万円以下の方	80,100円+(医療費-267,000円)×1%	44,400円
年収~約370万円の方 健保:標準報酬月額28万円未満の方 国保:年間所得210万円以下の方	57,600円	44,400円
住民税非課税の方	35,400円	24,600円

(※1)ここでいう年間所得とは、前年の総所得金額及び山林所得金額並びに株式・長期(短期)譲渡所得金額等の合計額から基礎控除(33万円)を控除した額(ただし、雑損失の繰越控除額は控除しない。)のことを指します。
 (※2)直近の12か月に、既に3回以上高額療養費の支給を受けている場合(多数回該当の場合)には、その月の負担の上限額がさらに引き下がります。
 出所:厚生労働省保険局「平成27年1月診療分から」高額療養費制度を利用される皆さまへ」

自己負担限度額の例

100万円の医療費で、窓口負担(3割)が30万円かかる場合
 [70歳未満・年収約370~約770万円の方]

医療費100万円

公的医療保険が負担(7割)

窓口負担30万円

支給される高額療養費

自己負担限度額

②高額療養費としての支給額 300,000円-87,430円=212,570円

①自己負担の限度額 80,100円+(1,000,000円-267,000円)×1%=87,430円

➡ 212,570円(②)が高額療養費として支給され、**実際の負担額は87,430円(①)**となります。

※ 上記自己負担額の例は平成27年6月時点を基準として試算したものです。

平均寿命と健康寿命

	平均寿命	健康寿命	平均寿命-健康寿命
男性	80.79歳	71.19歳	9.6年
女性	87.05歳	74.21歳	12.84年

健康寿命とは日常生活に制限のない期間のことを指します。

出所:健康寿命は厚生労働省「厚生科学審議会地域保健健康増進推進委員会資料(平成26年10月)」
 平均寿命は厚生労働省「平成27年簡易生命表」

ちゅうぎんからのご案内

■保険商品

- 医療保険
- がん保険

ライフプランを考えるための4ステップ



まずは現状を把握し、今後のイベントや退職後のこと、不測の事態への備えなどを具体的にチェックしていきましょう。

STEP 1 現状の確認

現在の年収

200万円未満	200~500万円未満	500~1,000万円未満	1,000万円以上
---------	-------------	---------------	-----------

50代前半の平均給与:496万円
 50代後半の平均給与:480万円
出所:国税庁「平成26年分民間給与実態統計調査」

毎月の支出

20万円未満	20~30万円未満	30~40万円未満	40万円以上
--------	-----------	-----------	--------

50代前半の平均支出額:34.4万円/月
 50代後半の平均支出額:34.9万円/月
出所:総務省統計局「平成26年家計調査(家計収支編 世帯主の年齢階級別・二人以上の世帯・勤労者世帯)」

現在の貯蓄額

200万円未満	200~500万円未満	500~1,000万円未満	1,000万円以上
---------	-------------	---------------	-----------

50代の平均貯蓄額:1,751万円
出所:総務省統計局「平成27年家計調査(貯蓄・負債編 世帯主の年齢階級別・二人以上の世帯・勤労者世帯)」

STEP 2 今後の予定

今後のイベント

マイカー購入	マイホームリフォーム	お子さまの進学	お子さまの結婚	親の介護・相続	その他
--------	------------	---------	---------	---------	-----

STEP 3 希望(予測)金額

退職金額(希望額)

1,000万円未満	1,000~2,000万円未満	2,000~3,000万円未満	3,000万円以上
-----------	-----------------	-----------------	-----------

退職給付額の平均額(勤続年数35年以上)
 企業規模 30~99人:1,729万円
 企業規模1,000人以上:2,417万円
出所:厚生労働省「平成25年就業条件総合調査」

退職時保有金融資産額(退職金を含んだ希望額)

1,000万円未満	1,000~2,000万円未満	2,000~3,000万円未満	3,000万円以上
-----------	-----------------	-----------------	-----------

60代の平均貯蓄額:2,402万円
出所:総務省統計局「平成27年家計調査(貯蓄・負債編 世帯主の年齢階級別・二人以上の世帯・勤労者世帯)」

公的年金受給額(月額・本人分の希望額)

5万円未満	5~10万円未満	10~15万円未満
15~20万円未満	20~25万円未満	25万円以上

受給額の平均額(65歳~69歳)
 国民年金:男性 57,381円、女性 54,420円
 厚生年金:男性169,567円、女性104,417円
(※厚生年金額は基礎年金額を含んでいます)
出所:厚生労働省「平成26年度厚生年金保険・国民年金事業年報」
 注:国民年金および厚生年金の受給権者がそれぞれ受給している平均年金月額(年齢別)データ

STEP 4 不測の事態への備え

保険を“みえる化”しましょう

加入中の保険の一例 黄色い部分を参考に、ご自身の生命保険加入状況について図を作成してみましょう。

死亡保障: 終身保険 200万円 / 定期保険特約 3,500万円 / 月払保険料 19,280円

入院保障: 医療保険 入院日額:5,000円 / 月払保険料 4,750円

がん保障: がん保険 入院日額:5,000円 / 月払保険料 2,680円

個人年金: 個人年金保険 年金額:350,000円(60歳満了10年確定年金) / 月払保険料 6,920円

50代 60代 70代 80代